

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/08/12号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



トランプ関税発動で、需要不安の値下がり

NY原油先物相場は、1バレル=63ドル台まで下落する展開になった。ロシア産の供給不安を背景に7月末にかけては一時70ドル台を回復する展開になっていたが、その後は改めて需給緩和見通しを織り込む動きが優勢になった。65ドルの節目も完全に下抜き、6月5日以来の安値を更新した。

8月7日にトランプ米政権の各国・地域に対する関税が発動した。4月と比較して税率を引き上げる動きが強く、世界経済に対するダメージが警戒されている。既に米中など主要国の経済指標で景気減速圧力が強くなっていることが確認されているが、今後は一段と厳しい経済環境になることが、石油需要を抑制する見通し。また、石油輸出国機構（OPEC）プラスが9月に向けて減産縮小（=増産）を進める方針を確認していることもネガティブ。需給緩和見通しの強さから戻り売り優勢の展開になった。引き続きロシア産の供給不安も強いが、米露首脳会談の予定が伝わったこともあり、供給リスクの織り込みは見送られた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月1日時点）は、原油が前週比303万バレル減、ガソリンが132万バレル減、石油精製品が57万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

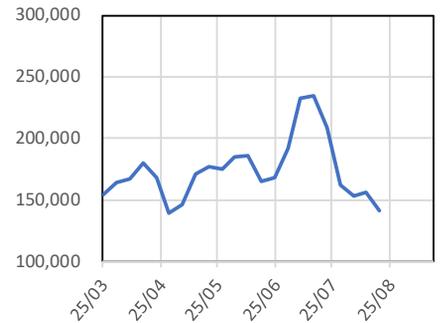
需給緩和見通しが上値圧迫、米露首脳会談に注目

改めて需給緩和見通しの織り込みが優勢になる中、上値の重い展開が支持される。世界経済の減速傾向は一段と強まる見通しだが、そのタイミングで石油輸出国機構（OPEC）プラスの供給量は増える見通しにある。足元ではドライブシーズンの需要が底固く推移しているが、時間の経過とともに季節要因のサポートも薄れていくことになる。このまま需要不安を解消するような動きが見られない場合には、60ドル台前半で戻り売り優勢の地合が維持される見通し。

ロシア産の供給環境には注意が必要。8月15日に米露首脳会談が開催される予定であり、ウクライナ停戦に向けて大きな進展がみられるのかが焦点になる。米国の仲介でウクライナとロシアの双方に歩み寄りが促されているが、ウクライナや欧州は米露間のみで領土割譲などの合意が行われることを強く警戒しており、先行き不透明感が強い。ここでウクライナ戦争の停戦に向けて大きな進展がみられるとの期待感が織り込まれると、このまま需給緩和見通しの戻り売り優勢の展開が続く可能性が高い。一方、目立った成果が得られない場合には、トランプ米政権はロシア産石油に対する制裁を強化する可能性が高く、供給不安を背景とした突発的な値上がりリスクには注意が必要。

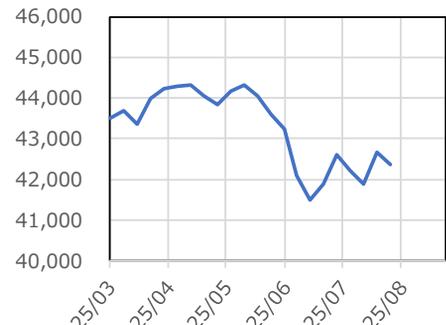
このため、需給緩和見通しを背景とした戻り売り優勢の地合を基本シナリオに、ロシア産の供給不安を織り込むような動きがみられるのかを探る展開になろう。8月12日にOPEC、13日に国際エネルギー機関（IEA）月報が公表される他、15日に中国の7月経済指標の発表が集中することがイベントリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



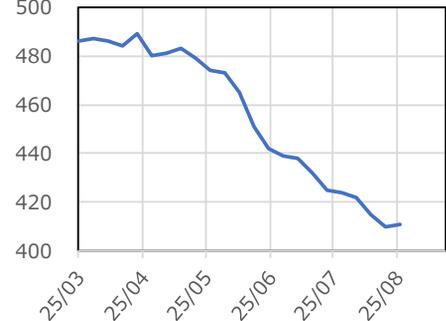
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

